

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
家庭科・家庭総合		普通科・2年	2	高等学校家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)
科目の概要と目標		生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉えて、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営む上で必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けて生活の課題を解決する力を養う。		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	これからの生き方 と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の生活設計 ・家族や家庭と社会との かかわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達する自分を見つめることができる。 ・青年期の発達の特徴を理解し、自立に向けて必要なことを考えることができる。 ・働くことの意義を考え、主体的なキャリア形成の必要性について理解することができる。 ・日本の労働環境、ワーク・ライフ・バランスに関する課題を理解し、自分らしい生活設計について考えることができる。 	
	食生活をつくる ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全 ・食生活のデザイン ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義と役割を理解し、自らの食生活を振り返ることができる。 ・食生活の変化について理解し、健康に配慮した食生活を送るために必要なことを考えることができる。 ・持続可能な食生活を作るための取組について理解することができる。 ・日本や世界の食文化の特徴を理解することができる。 ・調理の手順、包丁等の道具の操作、調味等の技術を身に付けることができる。 ・栄養バランスを考えた副菜や汁物の調理実習をすることができる。 ・自らの生活の中から課題を設定し、解決に向けて実験・実習をしたり、調べ学習をしたりする手順を身に付けることができる。 	
2 学期	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの衣生活の留意点について理解することができる。 ・被服の機能を生かした、望ましい着装について考えることができる。 ・着心地に影響する布の性能について理解し、どのような布が着心地がよいかを考えることができる。 ・布の品質に応じて洗濯することを学習することができる。 ・洗剤について、その働きや成分を知り、環境に配慮した洗濯の工夫について考えることができる。 ・基礎縫いやアイロンがけ等、衣服管理の方法を実習することができる。 	
	次世代をはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子育て支援と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について、食生活・衣生活、遊びの点から理解することができる。 ・子どもの発達と環境について、自分の親や子どもを持つ人にインタビューしたり、文献調査をしたりすることができる。 ・高齢者体験や映像教材視聴等を通して、高齢者の生活について考えることができる。 ・高齢者の心身の特徴や生活について理解を深めることができる。 	
3 学期	住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と住まい ・住生活の計画と選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住みたい家について考えることができる。 ・住環境の役割について考え、地域社会とのかかわりも含め、共生可能・持続可能な住まい・住環境を考えることができる。 	
	経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約、多様な販売方法や支払方法、悪質商法について考えることができる。 ・消費者の権利と責任について考えることができる。 ・生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について考えることができる。 	